

## 一人ひとりを見つめて

**生徒** めいろう 明朗先生の世界史の授業は、「熱血」という言葉がぴったりですね。「歴史はドラマだ!」と言って、身振り手振りも大きく、教壇の上を歩き回って、一人ひとりにストーリーを語りかけるように話すから、つい先生をじっと見て、聞いちゃいます。

**生徒** そうそう。だから授業中に先生とよく目が合う!

**先生** 「自分に言われている」と思えば、しっかり聞いて、理解も深まるだろう? 「言葉は目から入ってくる」といつも言っているのは、そういうことなんだよ。

**生徒** 先生が一人ひとりを見ていると実感したのは、下校時に先生から「元気か?」と言われた時です。確かにその頃忙しくて、疲れているかと思って、先生のその気遣いがうれしくて、頑張ろうって思いました。

**先生** あの時、担任の先生から様子を聞いていて、気になっていたからね。そうして普段から話をしていれば、相談したい時に話しかけやすいだろう?

**生徒** そうかも! 志望学部を医療か教育かで迷った時、明朗先生に相談しました。私の思いを聞いて、「どちらとも人の触れ合いが大切な職業だから、両方とも向いていると思うよ」と言われて、どちらを選んでも

大丈夫だからじっくり考えようと思えました。

**生徒** 部活動でも観察眼が鋭くて、ちょっと気持ちが緩んでいたら、先生がすごい勢いで真っ直ぐ歩いてきて、「自分だけよければいいんか!」と叱られて。しっかりしなければと、気が引き締まりました。

**先生** きみたちはリーダーなのだから、みんなを引っ張るという自覚を持ってほしくて、わざとみんなの前で言ったんだよ。小さなことだからこそ、周りの気持ちを大切にしてほしいんだ。例えば、廊下のロッカーの上に物を置きっぱなしにしないというルールも、全員が心がけているから、毎日気持ちよく過ごせるんだからね。

**生徒** 学年集会の最後に、明朗先生が生徒に大切にしてほしいことを話されますよね。中でも、「1人でも怠けている人がいるせいで、真面目に努力している人が損をするような学年にはなってほしくない」と言われたのが、心に強く残っています。3年生になったら、苦しいことやつらいことがあると思うけれど、全員で受験に向かっていく雰囲気をつくっていきたいです。

**先生** その気持ちがあれば大丈夫! これから1年、みんなで頑張ろう!

**中峯明朗先生** 教職歴34年。同校に赴任して5年目。指導教諭。2学年主任。地歴公民科。サッカー部顧問。

**岡山県立倉敷天城高校** 全日制/普通科・理数科/共学/1学年 約240人/2018年度入試合格実績(現浪計) 国公立大は、東京大、京都大、大阪大、岡山大、九州大などに140人が合格。私立大は、慶應義塾大、早稲田大などに延べ311人が合格。